

大藏省考課狀

皇号本透且去个條  
脱上考し

博覽會鐵道電信燈基瓦斯燈ノ部

明治六年一月一日  
三月三十一日

目次

第一號

工部省ヨリ鐵道器械買入代本豆金交付ノ高  
議

第二號

正院へ岡本大藏大臣澳國行ニ付從僕ノ稟候

第三號

大藏省

正院ヨリ澳國行諸官員月手當ノ諮問

第四號

太政官ヨリ澳國博覽會諸費金交付ノ下達

第五號

正院ハ博覽會事務局澳國行入費ノ儀ニ付稟  
白

第六號

正院ヨリ澳國博覽會入費金間金交付ノ諮問

第七號

度會縣ヨリ物品展覧ノ稟報

第八號

高知縣ヨリ博覽會開場ノ稟報

第九號

福岡縣ヨリ博覽會開場ノ稟報

第十號

茨城縣ヨリ博覽會開場ノ稟報

第十一號

外務省ヨリ独逸國ヘ一ラ半寫ハ傳信局建設  
ノ申報

大蔵省考課狀

博覽會并鍊道電信燈臺瓦斯燈

ノ部

明治六年一月ヨ  
リ三月ニ至ル

第一號

正院へ岡本大蔵大丞澳國博覽會ニ差遣セラレ

ニ由リ僕一人隨從セシメタキ申請ノ旨先例

モ之レアルニ付允許アリテ然ルハキヤト稟候

セリ乃チ候スル如ク允許アリ因テ此旨ヲ同人

ハ達セリ一月十日

第二號

大蔵省

大蔵省

正院ヨリ澳國博覽會ハ各國大會中國産ヲ陳列  
 シ後來工職盛昌ノ基礎ヲ立テ且接待往復等頗  
 ル大任タルニ由リ出格ノ僉議ヲ以テ副總裁始  
 テ諸官負総テ日當ヲ廢シ月手當ヲ賜ハリタシ  
 此例既ニナキニ非ス特ス允許ヲ請フト同局ヨ  
 リ稟候セルニ付至急意見ヲ陳述スヘキトノ諮  
 問アリ此ニ於テ諮問ノ趣取調ヘシニ全權大使  
 發行ノ儀ハ不至重ノ航海ニ付月手當ヲ賜ハリ  
 シナルヘク其他公使領事等ハ交代期限ナク長  
 ク各國ニ於テ事務ヲ擔當スルニ由リ一ケ年若

干ノ手當ヲ給與セラレト云ヘ此回ノ如キ  
 ハ全ク一時ノ公務前件ノ例ニ比スヘカラス且  
 他ニ差響キモアルニヨリ允許セラレサルヘキ  
 旨回答セリ一月十九日

第三號

太政官ヨリ澳國博覽會諸入費受取方同事務局  
 ヨリ稟候ノ趣アリト雖<sub>ニ</sub>用度多端ノ節其請フ  
 所ノ如ク交付シ難キニ由リ金十五萬圓ヲ以テ  
 精々節畧シ取賄フヘキ旨同局ヘ令セリ因テ右  
 ノ金額交付スヘシト達アリ乃チ金十五萬圓交

付スヘキニヨリ受取ノ者差出スヘシト同局へ  
申報セリ十一月二十一日

第四號

工部省ヨリ向ニ數回往復ニ及ヒシ鑄道器械代  
價ハ巨萬ノ金額ナルニ突然出方ノ商議ニヨリ  
即時交付シ難キ云々ノ回答ハ其旨ヲ領スト云  
氏右ハ最前エシタルハシクニ依頼シ買入レシ  
ニ其不足金高ノ勘定書ハ總カニ前日進達セシ  
都合ニテ臨時ノ費用即今日途金ノ内ヲ以テ仕  
拂ヒ難ク然レ氏至急處分セサレハ利足漸ク増

加スヘキニ由リ止ヲ得ス再應商議ニ及フ所以  
ナリ願クハ貴省ニ於テ暫ク繰替拂ノ處分ヲ得  
シ但當省定額金確定ヲ得ハ漸次返納スヘシト  
商議セリ因テ正院へ嚮ニ横濱東洋銀行ヨリ鑄  
道器械代價ノ渡方ヲ出願セシト云へ氏當省ニ  
於テ聊カ了知セサルニ由リ數回工部省へ照管  
セシニ右ノ商議アリ抑モ鑄道ノ公債タル初大  
隈參議伊藤工部大輔大藏大少輔奉職中英人ト  
約條ヲ結ヒ英貨百万磅ヲ借入レシニ其後不都  
合ノ取扱アルヲ以テ破約シ更ニ東洋銀行ト約

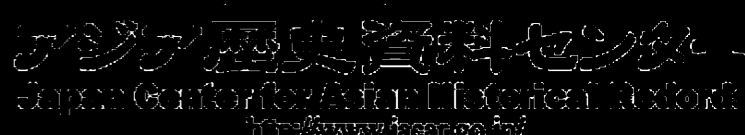


マシ際石百万磅ノ内七十万磅ヲ以テ地金買入  
破約償金紙幣製造等ニ仕拂ヒ鏡道引當トセシ  
三十万磅モ大概遣拂ヒ現今僅ニ九十磅六シル  
五ハンスノ預ケ金ナルト工部省ニ於テ景前ノ  
勘定書ヲ按算セハ悉ク皆瞭然ナルハシ然ルニ  
其有金ヲモ調査セスシテ突然其注文セシ器械  
代不足金ノ仕拂ヲ商議スルト當省出納ノ計算  
ニ關シ不都合ノ至ナリ然レモ其仕拂ヲ稽迄モ  
ハ畢竟利足ヲ増加スハキヲ以テ右不足金ハ東  
洋銀行へ下付セサルヲ得サルハシ右金繰替拂

處分ノ上ハ工部省定額ノ内ヨリ月割ヲ以テ返  
却セシムヘキヤ且同省取計ヒノ不都合ハ至當  
ノ處多アラシトテ要スト上陳セシニ工部省取  
計ノ分ハ不日之レアルヘキニ尙東洋銀行へ拂  
渡スヘキ不足金英貨六万磅ハ交付スヘキノ達  
旨ニ由リ工部省へ右金交付スヘシト回答セリ  
十一月二十五日

第五號

正院へ博覽會事務局澳國行費用金十五万圓ノ  
外彼地ニ於テ臨時ノ費用アラハ金額外超過ヲ

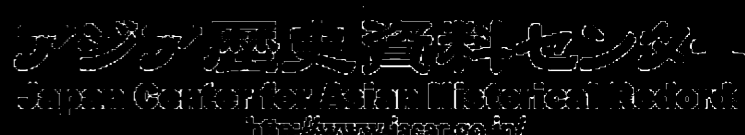


ル一モアルヘキ旨佐野副惣裁ヨリ豫シメ上陳  
 セルニ陳スル如ク指令アリシトノ由傳承セリ  
 然ルニ右費用ノ義ニ付テハ向キ岡本大藏大丞  
 へ委任セラレシ趣モアリ且彼地ニ於テ臨時ノ  
 入費アリトモ額外融通ヲナスヘカウサルノ嚴  
 ニ達シ置ケリ若夫聞カ如ク佐野副惣裁へ許可  
 アラハ岡本大丞へ委任ノ例ニ扨搭シ又金穀專  
 任ノ當省長官ヨリノ達書ニモ齟齬シ自然不都  
 合ノ事ニ至ルヘシ右ハ傳聞ノ説ナレモ内外多端  
 會計目途未立ノ際憂慮ノ餘リ前以テ申牒スト

稟白セ 稟 十月二 十一月二

第六號

工部省ヨリ昨午申十月貴省商議スル所ノ度會  
 縣管下志摩國海岸神島村燈明臺廢存ノ得失ヲ  
 實地ニ就キ檢査セシムルニ土人舟子ハ到底一  
 隅ノ便利ヲ謀ルニ過キス其說紛々一定セスト  
 云ヘモ要スルニ同所ハ船舶航海ノ要路ニ非ラ  
 ス且菅嶋燈臺不日落成ノ上ハ固ヨリ贅物ニ屬  
 スレハ断然相廢シ然ルヘシト回答セリ因テ向  
 ニ指令ニ及ヒシ如ク菅嶋燈臺不日落成ノ上ハ



神島村旧燈明ノ入費ハ断然官給ヲ廢スヘク但  
土人自費ヲ以テ點燈スルハ妨ケナキ旨護會縣  
へ達セリ  
二月

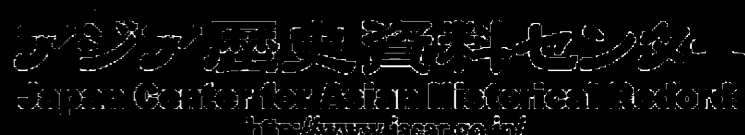
第七號

正院ヨリ澳國博覽會入費金十五万円ヲ以テ横  
濱ニ於テ洋銀十五万弗ニ換ヘシニ一弗銀六十  
三匁九分ノ價ニテ間金九千七百五十四匁不  
ナレリ向キニ用度金見積二十万弗交付ヲ請ヒ  
シニ減少ノ決議ヲ以テ十五万円交付セラレシ  
ニ由リ右ノ間金アリテハ用度益不足ナルヲ顯

然ナリ因テ間金ノ數ヲ交付アリタキ云々佐野  
副總裁ヨリ上陳ノ旨下問アリ此ニ於テ洋銀價  
ハ時ノ低昂ニ依テ一々計算ヲ立ス外務省其他  
洋銀ヲ多用スルノ廳ニ於テモ總テ額内ヲ以テ  
流通シ別ニ差金交付ノ例規ナシ既ニ何万円ノ  
數ヲ以テ金額ヲ定メシ上ハ申請スル所允許セ  
ラレサルヘキ旨回答セリ  
二月十四日

第八號

度會縣ヨリ今般神宮神宝ヲ始メ中外物品ヲ展  
觀シ庶民ヲシテ縱覽セシメテ神宮司ト合





議シ教部省へ稟候セシニ許可アリ因テ縣下山  
田ニ於テ當三月十五日ヨリ五月十五日マテ開  
場スヘキトノ稟報アリ二月二  
十三日

第九號

高知縣ヨリ當縣商中岡正十郎外一人旧城内ニ  
於テ博覽會ヲ設ケ四月一日ヨリ晴天一百日間  
開業ナシタキ旨申請セルニ由リ施設方法書ヲ  
副ヘテ稟報セリ因テ其趣ハ聽取スヘキニ付不  
取締ナキヤウ注意スヘキト指令セリ二月二  
十七日

第十號

兵庫縣ヨリ當港瓦斯燈ノ建設ハ乃チ向ニ稟白  
セシ如ク外國人ノ發起アリト云ヘ氏横濱ノ振  
合アレハ願クハ内國人ヲ以テ取開クヘキ意先  
ニテ既ニ其議ニ決セリ然ルニ反覆推考スルニ  
當港ハ貿易ノ景況土地ノ廣狹横濱ノ比ニ非ラ  
サレハ徒ラニ外國人ノ發起ヲ拒ミ他日遺算ノ  
期ニ至リ更ニ外國人ニ依頼セニヨリ断然其初  
ヨリ委任スルニ如カス此説或ハ外國人ヲシテ  
其利ヲ專ラニセシムル論アルヘキカ如シト云  
ヘ氏固ヨリ不動物ナレハ其利タル必シモ外國

人ノ之ニ帰スルニ非ラス且既ニ右発起ノ外國  
 人ヨリ瓦斯製造ノ地所ヲ借ラニイラ乞ヒ其會  
 社注文ノ瓦斯器械不日到着スヘキヲ以テ最前  
 ノ談判至急決答ヲ得ニト迫促スレハ願クハ速  
 カニ裁断アラント稟候セリ前件ノ旨外務省ヘ  
 モ申牒セシ由ニテ當省ノ意見ヲ領承セント同  
 省ヨリ照管セリ前議ハ最前達旨ノ都合アレ氏  
 土地ノ景況時機ノ緩急ヲ再應審案スルニ同縣  
 ノ意見允當ナレハ稟議ノ旨ヲ許可シ内國人民  
 モ其會社ニ加入セシメ妨ケナカルヘシ畢竟同

省ノ意見ハ内國人ヲ以テ建設スルノ主意ナレ  
 氏實際ノ事情ニ於テ或ヒハ適當セサルモノア  
 レハ其旨ヲ三等出仕澁沢正五位ヨリ井上大輔  
 出張先ヘ諮問セリ三月八日

第十一號

福留縣ヨリ方今開明ノ際衆庶ヲシテ究理開識  
 ノ道ニ進マシメンカ為メニ管下ニ於テ三月二  
 十日ヨリ四月二十日マテ博覽會ヲ設ケタキト  
 太宰府神宮數名ヨリ懇請セルニ尙僻土蒙昧ノ  
 民進歩ノ一助ニモナルヘク且全ク管内限ノ施

設タルニ由リ聽許セル旨方法書ヲ副ヘテ稟報  
セリ因テ報スル所聽取セリ但取締ナキヤウ  
注意スヘシト指令セリ三月十日

第十二號

茨城縣ヨリ貫屬士族菊池武恒外一名ヨリ谷中  
桂岸寺ニ於テ三月十五日ヨリ晴天十五日ノ間  
博覽小會ヲ施行ナシタキ旨申請ニ由リ施設方  
法取調ノ上聽許セリト稟報セリ三月八日

第十三號

外務省ヨリ今般獨逸國ヘ一ラ半島ヘ傳信局建

設ニ付同國公使ヨリ右建設ニ由テハ貴邦船主  
水夫等ニモ關係アラハ布令アルヘクトノ申報  
アリ因テ獨逸國ヘ一ラ半島ヘ傳信局建設ニヨ  
リ同國公使ヨリ來牒アリ右ノ趣心得ヘキ旨各  
府縣ヘ布達セリ三月十一日